

# 徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校 総括評価表

III 挨拶, 言葉遣い	《全校レベル》	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
<p>い, 礼儀作法, 時間やマナーを守る態度と好ましい人間関係を育成し, 看護師として必要な資質の向上を図る。</p> <p>基本的な生活習慣の確立をめざし, 挨拶の励行や望ましい言葉遣いや態度, マナーを身に付けさせる。</p> <p>《下位組織レベル》</p> <p>①毎学期の生活目標を持たせ主体的に行動できるようにする。 [各HR担任, 生徒指導課]</p> <p>②「服装・マナーアップ週間」を設定し, 頭髪服装指導に取り組むとともに, 相手や場に応じた言葉遣い, 礼儀, 挨拶, マナーについて自己評価させ, 社会的素養を高める。 [生徒指導課]</p> <p>③生徒会や生活委員等によるあいさつ運動を積極的に展開する。 [生徒指導課・特別活動課・人権教育教育相談課]</p> <p>④いじめの未然防止, 早期発見に努める。 [生徒指導課]</p> <p>⑤防災教育の充実を図り, 災害から身を守り, 自らの安全を確保するための行動ができる能力を育成する。 [環境防災課]</p>	<p>①学期目標の自己評価の「できた」が平均85%以上をめざす。</p> <p>②各学年で, 毎月服装・頭髪指導を実施し, 指導を受ける生徒が5%以内とする。</p> <p>③挨拶や会釈が出来る生徒が90%以上をめざす。</p> <p>④適切な対応ができ, 敬語が使える生徒が90%以上をめざす。</p> <p>⑤いじめ防止対策として, 情報収集に努め, 職員間の共通理解を図る。</p> <p>⑥スクールカウンセラーと連携を図り, 生徒の悩み等の支援体制を整備する。</p> <p>⑦防災訓練を年3回行い, 生徒全員が適切な避難行動ができる。</p> <p>⑧専攻科において, 自主・自律的に身だしなみについて考え, 行動できたとして自己評価した生徒が90%以上をめざす。</p>	<p>①各学期の生活目標について, 感染症対策に関する目標を掲げていたが, 「できた」とした生徒が99%となった。</p> <p>②月初めの一斉服装・頭髪指導の対象者は5%となった。頭髪に関して指導を受ける生徒は1%であった。各学年とも長期休業日明けに指導回数が増加した。</p> <p>③学校評価アンケートの「挨拶ができる」という項目では, 看護科91.4%, 専攻科92.7%となった。</p> <p>④学校評価アンケートの「適切な言葉遣いができる」という項目では, 看護科87.1%, 専攻科79.7%となった。</p> <p>⑤年間3回「いじめアンケート」を実施し, 疑いのある事案については, いじめ防止対策委員会等を4回実施(2学期末現在)した。また, スクールロイヤー派遣事業を活用し, 生徒を対象とした出前授業を実施した。</p> <p>⑥スクールカウンセラーと生徒及び保護者の面談は延べ19回実施した。</p> <p>⑦年に4回防災訓練を実施することができ, 避難行動をとることができた。</p> <p>⑧学校評価アンケートの「身だしなみはきちんとしている」という項目では看護科94.8%, 専攻科98.5%となった。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>B</p> <p><b>(所見)</b> 長期休業日中に染髪した生徒・学生も始業式までには自主的に直しているため, 事後指導の対象者は少ない。しかし, 日頃の制服の着崩しが気になる生徒も見受けられた。また, スクールカウンセラーとの面談回数が昨年比で約3割減少している。一方, 学校評価アンケートの「先生にいろいろな悩みを相談できる」</p>	<p>学校関係者の意見</p> <p>○教員に色々な悩みを相談できるとする生徒・学生が, 看護学科・専攻科ともに増加しており, 教員が信頼されている証でもあると思う。いじめについても, 疑いのある事案について早期に対応し, いじめ防止の実施するなど, 積極的に取り組むことができている。○「学校行事は適切である」の項目の評価が低いのと, 「先生に悩みを相談できる」という項目がやや低いことから, 生徒が何らかの不満があるように思えるため, 全員がもっと発言できる環境を整えることが必要だと思う。保護者に対しても進路の選択肢が広がるようなアドバイスや情報提供をさらに強くお願いしたいと思う。</p>	<p>学校評価アンケートの「適切な言葉遣いができる」という項目において, 目標の数値を達成できなかった。言葉遣いも服装頭髪等の外見と同様に第一印象に影響を与える重要な部分を占めている。他者との円滑なコミュニケーションを図り, 良好な人間関係を築くためにも, 場面に応じた適切な対応ができるように職員間で共通認識を持ち啓発していきたい。</p>
	<p><b>活動計画</b></p> <p>生徒指導やマナー指導について, 全教職員で共通理解のもと, 協力して取り組む。教育相談支援体制の強化を図り, 生徒が様々な悩みについて相談しやすい環境を整備する。</p> <p>①HR活動のテーマに, 「パブリックマナー」を取り上げ, 意識の向上や強化に努めるとともに, 実践力の向上を図る。</p> <p>②遅刻回数や欠席回数の月別累積を集計し, 結果をもとに指導する。</p> <p>③生徒会役員や生活委員等を中心に「あいさつ運動」を行う。</p>	<p><b>活動計画による実施状況</b></p> <p>学校評価アンケートの「生徒指導方針に賛成である」という項目では, 看護科生徒94%, 保護者91.4%となった。また, 専攻科学生については98.6%, 保護者95.6%となった。</p> <p>①年度当初に「パブリックマナー」をテーマとした一斉ホームルーム活動を実施した。学校評価アンケートの「通学マナーが適切に守られている」という項目では看護科97.4%, 専攻科95.6%となった。</p> <p>②月に3回遅刻をした生徒に対し, 学年団で指導を行っている。ほとんど指導の対象になった生徒はいない。</p> <p>③4・6・9・11・1月の年間21回のあいさつ運動を実施した。</p>				

		④ T P O に応じた礼儀や言葉遣いの指導を行う。	④ 職員室の入退室時や各行事での所作や言葉遣いなど、全て学校生活の場面で常時指導している。	を昨年と比較すると、看護科で4.3%、専攻科では3.6%増加している。		
⑤ 教員から生徒への声かけをしながら、カウンセリングを充実させる。	⑤ 学校評価アンケートの「教員にいろいろな悩みを相談できる」という項目では、看護科57.7%となり、昨年比4.3%上昇した。また、専攻科では53.6%となり、昨年比3.6%上昇した。					
⑥ 専攻科において、看護科で身につけた身だしなみやマナーをさらに向上させる。	⑥ 身だしなみについては、良い印象を与えコミュニケーション力を高める一つの手法とし清楚な服装及び着こなしを心掛けるように指導している。学校評価アンケートの「時間やマナーを守る取組がなされている」という項目では、81.2%という結果となり、昨年比で5.5%上昇した。					